

令和３年度第１回多治見市スポーツ推進審議会会議録

- 【日 時】 令和３年１０月１２日（火）１８時３０分～２０時１０分
- 【会 場】 多治見市役所本庁舎４階会議室
- 【出席委員】 小栗和雄（会長）、近藤一三、八橋 諒、市原浩代、安藤 宏、松田光弘、
河村親子、神崎 歩（以上、敬称略）
- 【事務局】 環境文化部・若尾部長、文化スポーツ課・大竹課長、近藤、富士、岡田
- 【議 題】 １ 第２期生涯スポーツ推進プランの進捗状況について
２ 令和２年度体育施設利用状況について
３ 令和２年度学校開放施設利用状況について
４ スポーツ活動の推進に関する意見交換

◆１８時３０分 開会

１ 開会

２ 会議の公開・非公開の決定について

事務局説明

（会長）

事務局説明のとおり、この審議会を「公開」としてよろしいでしょうか。

（委員）

（異議なし）

（会長）

では、この審議会は「公開」とします。

３ 議題

（会長）

それでは、議題に移ります。事務局から説明をお願いします。

議題１ 第２期生涯スポーツ推進プランの進捗状況について

事務局説明（資料②に基づき説明）

（会長）

ご意見、ご質問があればお願いします。

（委員）

スポーツをする人、見る人、支える人の数はどうようになっているのでしょうか。

（事務局）

具体的なデータは後期計画終了時に行うアンケート調査で明らかになります。現状の感覚として、緊急事態宣言による施設閉鎖が解除されれば、すぐに多くの利用者が来ます。また、資

料③からも分かるように、施設の利用率（閉館期間を除いて算出）は減っていない状況です。

（会長）

開催できたイベントとできなかったイベントの違いはありますか。今後のためにも検証が必要だと思います。

（事務局）

イベントの内容よりも、時期に左右されます。緊急事態宣言が出ている期間中はどのイベントも基本的に中止、宣言が解除されれば開催といった状況です。新型コロナが始まった最初の頃、昨年3～5月は全てのイベントが中止となりました。民間のジムでクラスターが発生したこともあり、特にトレーニング室の利用はストップしましたが、感染対策に気を付けつつ再開し、その後どこの社会体育施設でもクラスターが発生したことはありませんでした。そういったことを学びながら、令和3年度を迎えている状況です。

（委員）

各事業は単年度評価としていますが、コロナで中止された事業はどのように評価されていますか。

（事務局）

実施できた・できなかった、の結果だけでなく、準備・プロセスも含めて評価していると認識しています。

（委員）

事業名「機能向上を目指した改修整備」に関してですが、市営球場の塔時計が、以前から故障して止まっているのに、なかなか修繕されていません。先日の県大会の運営にも支障がありました。施設の修繕の基準はどうなっているのでしょうか。

（事務局）

規模が大きなものは、全庁的に優先順位を付けて行っています。予算が不足する場合は流用などして対応しています。

他の施設も同様ですが、設備が故障したときは、施設が古く、交換部品が無い場合があります。設備ごと取り替えざるを得ないことがあり、調達を含めて修繕に時間と費用がかかります。

（委員）

向島テニスコートが閉鎖されると聞きましたが、具体的な時期は決まっていますか。

（事務局）

令和6年度、7年度あたりを予定しています。今年度から進めている星ヶ台運動公園整備計画の中で、星ヶ台テニスコート8面を増設し、その後、向島テニスコートを閉鎖します。

（委員）

現在も、星ヶ台テニスコートの利用者に対して、近隣住民から騒音の苦情が寄せられています。テニスコートを増設することについて、近隣住民との調整は行われていますか。

（事務局）

新しいテニスコートは、星ヶ台第1テニスコートの北側に整備する予定であるため、団地への影響は少なく、新たなトラブルは生じないと考えています。

議題２ 令和２年度体育施設利用状況について

事務局説明（資料③に基づき説明）

（会長）

ご意見、ご質問があればお願いします。

（委員）

総合体育館第一競技場の利用率について、平成３０年度の利用率が低いのはなぜでしょうか。

（事務局）

空調整備及び床改修工事により閉鎖期間があったためです。

（事務局）

利用率について、コロナの影響が特に多いのは、閉鎖期間外においても利用人数制限をしたトレーニング室です。指定管理者にとっては収入減に直結するので、市から支援金を払って補償しています。

（会長）

コロナの影響もあると思いますが、トレーニング室の利用者は令和元年度から既に減っています。コンビニフィットネスなど民間のジムがオープンした影響もあるのではないのでしょうか。先ほどの施設修繕の話と関係するが、利用者や利用率を見ながら分析していくことが大切です。

（委員）

市営球場の利用率が下がっているのは、硬式野球の利用がしづらくなっているからだと思います。ボールの飛距離が伸びたせいで、球場の外にボールが飛び出てしまいます。練習では、ホームベースの上あたりにネットを張って対策していますが、試合ではネットを張ることができません。一方で、滝呂球場の利用率があまり減っていないのは、立地的にボールが飛び出ても問題ないからではないかと思います。

（会長）

利用者しか気づかない点もあり、そういったことの分析も大事だと思います。

議題３ 令和２年度学校開放施設利用状況について

事務局説明（資料④に基づき説明）

（会長）

ご意見、ご質問があればお願いします。

（委員）

小学校よりも中学校の利用率の方が高いが、これはジュニアクラブの利用も含めているからでしょうか。

（事務局）

そのとおりです。

議題4 スポーツ活動の推進に関する意見交換

(会長)

これまでの議題で事務局から説明のあったように、新型コロナ禍で市民の体を動かす機会が減少していることを踏まえ、スポーツを推進する立場から、皆さんのスポーツ活動の現状をお伝えいただけたらと思います。

(委員)

精華交流センターでは、コロナ禍で高齢者のサークル活動が止まってしまい、その後、解散してしまった団体もあります。

(委員)

自治会のイベントもほとんど中止となり、役員が行事を経験しないまま任期交代を迎えています。PTA活動や資源回収も同様。新型コロナ禍で、活動を継承していくことが大変だと認識しています。

スポーツ活動自体は、オリンピック直後に緊急事態宣言により活動停止となり、緊急事態宣言が解除してからは、スポーツへの熱が鬱積していたのだと思いますが、活動希望者がとても増えた印象があります。

(会長)

これまでのスポーツの大会等については、第1位、第2位など順位をつけることを目的としていたが、新型コロナの影響で練習ができない状況が続くことを考えると、順位をつける大会ではなくゲーム（試合）を行うことを目的とした大会を開催するなど、目的を変えていくことも必要になるのではないのでしょうか。大会等のあり方も新型コロナ対策の過去の事例から学んでいくことが大切です。

(委員)

保健センターの健康づくり活動は、だいたい8割程度は年度当初から開催スケジュールが決まっています。それらに関しては、緊急事態宣言中は中止、解除されたら実施、というかたちでこなすことができました。残り2割程度は、児童館イベントなどでの単発の依頼ですが、昨年はこれがほとんど無かった状況でした。

(委員)

ジュニアクラブの指導者をしています。大会の際は、2週間前からの体調記録などの対策をとって活動を実施。緊急事態宣言中も、子どもたちがスポーツから離れないように、ZOOMを使ってオンラインによるトレーニングのアドバイスをしていました。講義のようなイベントは、オンラインを活用するのも方策の一つではないのでしょうか。

(委員)

緊急事態宣言中、幼稚園での出席率は保育園の半分程度でした。それによる子どもの体力格差が生じることが心配です。運動会などのイベントでは園児が学ぶことも多いため、通常の形で実施できると良いが、開催も難しい状況がありました。感染症対策として、手をつなぐこともできなかったが、手をつなぐことの大切さを伝えるため、ホースを輪にしてつないでもらうなど、工夫して取り組んでいます。

文部科学省から幼児の運動に関する指針も踏まえ、体力アップのために、かけっこや跳び箱などを通じて、スポーツに楽しむ経験を子どもたちに伝えていく必要性を感じており、小さい子どもに視点を合わせたイベントの実施をお願いしたいと思います。

(委員)

コロナと直接関係無いが、最近の変化で言えば、中体連に中学校の枠を超えた合同チームが参加できるようになったことがあります。少子化が進む中、学校によっては部活動（ジュニアクラブ）の選択肢が少なく、やりたい種目をやれない子が出てきていますが、合同チームが認められたことで、各学校1チームではなく、合同のクラブチームというかたちで選択肢が広がると思います。

一方で、指導者不足た指導者の世代交代ができていないのが課題です。同じ人がずっと無償で指導を担っている状態で、余程、志が高くないとできないことだと思います。講習とか活動費支援とかで、指導者を育成していく必要があると感じています。

(委員)

今回の緊急事態宣言解除後に中学生にワクチン接種が解禁されたが、秋のイベント（大会、修学旅行など）と重なってしまい、参加できない子たちもいました。子どものワクチン接種のタイミングも市で考慮していただけるとありがたいと思います。

(委員)

新型コロナの第5波は大きかった。ワクチン接種は進んでいるが、ワクチンを打てばすべてが大丈夫だという認識も危険です。今後も、イベントなどでは新型コロナ対策をしっかりと講じていくことは必要です。イベントや大会を主催する場合、クラスターが発生したときの社会的責任を考えると、現在のところ、大規模イベント等の開催は危険であると思います。

(委員)

コロナ禍の今、大規模なイベントは中止や延期等が難しく運営費にも大きな影響が出てしまうので、中止等による影響が比較的少ない小回りの利く小規模な活動を推進していく必要があると感じています。

(委員)

ワクチン接種が普及しつつあるが、子どもたちは接種できないのが現状。今は、そういった新型コロナ弱者にとって安全かどうかを考えて事業をしていく必要があると感じています。

(会長)

それでは、以上で本日の議題は終了します。

◆ 20時10分 閉会